

令和3年8月5日

広島市教科用図書採択審議会会長 様

広島市教科用図書採択審議会調査員

教科【社会】種目【歴史的分野】

代表者 川本尚樹

令和4年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の調査・研究について（報告）

このことについて、別紙のとおり調査・研究結果をまとめましたので、報告します。

令和4年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書

1 教科 [社会] 種 目 [歴史的分野]

2 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、人類が決して忘れてはならない原爆ドームなど、平和の原点となる場所や、古代から現代にいたる歴史的建造物や遺構などが多数存在し、身近な地域の調査や体験活動を通して、歴史を直接感じることができる地域である。
- 本市の生徒は、身近な地域に関する歴史的事象について興味・関心は高く、文献や絵図、統計などの歴史学習に関わる資料を読み取る力は身に付いているが、歴史的事象を多面的・多角的に考察する力や、歴史に見られる課題を把握し、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力に課題がある。

3 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
＜基礎・基本の定着＞	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
＜主体的に学習に取り組む工夫＞	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
＜内容の構成・配列・分量＞	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
＜内容の表現・表記＞	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の示し方 ⑧ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方
＜言語活動の充実＞	⑨ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動の工夫

令和4年度から使用する中学校用教科用図書の調査・研究報告書

1 教科 [社会] 種 目 [歴史的分野]
 2 調査・研究の観点及び教科書の特徴

観点	視点	発 行 者							
		東京書籍	自由社	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育鵬社	学び舎
観点1 基礎・基本の定着	① 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭4ページで、「日本の国宝・重要文化財」の写真や、SDGsに関するテーマと写真、図を掲載している。 ○ 巻末3ページで、「各地の主な史跡」、「旧国名地図」等に関連する写真を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国・欧米の欄を設け、対応している時代区分を色で分けるとともに、関連する出来事を示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文3行で説明し、さらに特設ページ「もっとな歴史」で「現代に生きる神話」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」、「重要文化財」、「世界の記憶」、「無形文化遺産」の資料にマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭2ページで、「日本の世界文化遺産」に関する写真と日本列島のイラストを掲載している。 ○ 巻末2ページで、「世界各国・王朝の興亡一覧」、「元号→西暦早見表」を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国・西洋の欄を設け、関連する出来事を示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文7行で説明するとともに、本文見開き2ページで神話・伝承について説明している。さらにコラム「『古事記』をよみがえらせた本居宣長」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」、「重要文化財」の資料にマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭2ページで、「私たちに繋がる歴史」に関連する写真や絵を掲載している。 ○ 巻末7ページで、「江戸時代の産業と交通」、「昔の国と、都道府県の対照図」、「世界地図の歴史」等に関連する写真を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、関連する出来事を示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文5行で説明し、さらに特設ページ「歴史を探ろう」で「神話にみる古代の人々の信仰」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」、「重要文化財」の資料にマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭2ページで、「日本各地の伝統行事と祭り」に関連する写真と年表を掲載している。 ○ 巻末10ページで、「歴史の舞台を訪ねよう①」、「日本の世界遺産」、「歴史の舞台を訪ねよう②」に関連する写真を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、関連する出来事を示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文6行で説明し、さらにコラム「『古事記』と『日本書紀』が伝える神話」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」、「世界の記憶」の資料にマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭3ページで、「日本の世界遺産」の写真と日本列島のイラストを掲載している。 ○ 巻末2ページで、「現在の世界」として、世界地図を掲載している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文7行で説明し、さらにコラム「日本の神話」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」の資料にマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭2ページで、「探してみよう！私たちが歴史とのつながり」に関連する写真や絵を掲載している。 ○ 巻末4ページで、「世界遺産」等に関連する写真と「国県対照と五畿七道」、「主なできごと・史跡・関係地」の地図を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国の欄を設け、関連する出来事を示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文4行で説明し、さらに特設ページ「歴史を掘り下げる」で「日本の神話」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」の資料にマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭6ページで、「日本人の誕生物語」と「日本の美の形」に関連する写真を掲載している。 ○ 巻末4ページで、「日本列島・歴史の宝庫」等に関連する写真を掲載している。また、綴じ込み年表を掲載し、朝鮮・中国・西洋の欄を設け、関連する出来事を示している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文4行で説明し、さらに特設ページ「歴史ズームイン」で「神話に見るわが国誕生の物語」を掲載している。 ○ 本文中の「世界遺産」、「国宝」の資料にマークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭2ページで、歴史地図（世界）を掲載している。 ○ 巻末4ページで、歴史地図（日本・昔の国名と国境）を掲載している。 ○ 「古事記」、「日本書紀」、「風土記」について、本文10行で説明し、コラム「『常陸国風土記』に書かれた富士山と筑波山」を掲載している。

観点	視点	発行者						
		東京書籍	自由社	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育鵬社
② 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	観点1 基礎・基本の定着	主として、古代・中世を取り上げて記載（同時代は日本が国家を形成し、発展させていく上で、特に東アジアとの深い関わりが見られた時代であるため）						
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「大陸の玄関口・福岡」を掲載している。また、「もっと歴史」に、「東アジア世界の国々の交流と琉球文化」を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「基礎・基本のまとめ」で、基礎的な語句の確認に表現活動を設けている。また、「まとめの活動」で「探究課題」を解決する活動を設定している。 ○ 特設ページ「資料から発見」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるために、学習課題を設けている。 ○ コーナー「スキルアップ」を設け、系図やグラフの読み取り方等に関する学習課題を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページコラム「もっと知りたい」を設け、『『日本』という国名のおこり』や「日本の天皇と中国の皇帝」を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「学習問題のページ」で、基礎的な語句の確認等を行い、「時代の特徴を考えるページ」で、時代の特徴をとらえるための活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、コラム「歴史の窓」を設け、「宋と高麗」、「一つになるユーラシア世界」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「学習のまとめと表現」で、基礎的な語句の確認等を行い、「原始・古代の時代の特徴を考えよう」という活動を設定している。 ○ 特設ページ「歴史の技」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を探ろう」を設け、「東アジアに開かれた窓口 博多」を掲載している。また、コラム「未来に向けて」に、「東アジアの美、磁器」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「章の学習を振り返ろう」で、基礎的な語句の確認等を行い、時代の特徴を穴埋め形式で解決する活動を設定している。 ○ コラム「技能をみがく」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史へのアプローチ」を設け、「中国の記録に見る日本列島」、「東西ユーラシアの動き」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「まとめ」で、基礎的な語句の確認等を行う活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「歴史を掘り下げる」を設け、「朝貢・冊封とは何か」を掲載している。また、コラム「地域に学ぶ」に、「久米村でつくられた外交文書」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「学習の整理と活用」で、基礎的な語句の確認等を行い、「アクティビティ」で、時代の特徴を考える活動を設定している。 ○ コーナー「スキルアップ」を設け、歴史学習に必要な技能を身に付けるための学習課題を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目「古代までの日本」、「中世の日本」において、特設ページ「このころ世界は」を設け、「ローマ帝国と日本の古墳時代」、「ユーラシアを一つにつないだモンゴル」等を掲載している。 ○ 中項目「古代までの日本」の最後の「学習のまとめ」で、基礎的な語句の確認等を行い、時代の特徴をノートに記述する活動を設定している。

観点	視点	発行者							
		東京書籍	自由社	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育鵬社	学び舎
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を持たせ、見通しを立てたり、学習を振り返って次につなげたりするための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「導入の活動」を設け、「平城京が造られた背景にせまろう」等のグループで話し合う課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題とともに、各小項目の課題を「探究のステップ」として段階的に示している。 ○ 中項目の最後に、「基礎・基本のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、中項目の課題を「探究のステップ」とし、2～4ステップで、段階的に探究課題を解決するような学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、関連する写真やイラストを掲載している。 ○ 中項目の最後に「復習問題のページ」を設け、語句等の確認を行い、「時代の特徴を考えるページ」で歴史用語等をまとめることで、学習内容を振り返る学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「学習を始めよう」を設け、「社会はどのように変化したのか、予想してみよう」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、対応する小項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、語句等の確認を行い、文化について説明する活動や、時代の特徴を振り返る学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「タイムトラベル」を設け、「前の時代と比べて特色を考えよう」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、対応する小項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、語句等の確認を行い、3ステップで段階的に考えを整理したり、話し合いをしたりしながら、中項目の課題解決を行う学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、関連する写真やイラスト、年表などを掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「まとめ」を設け、語句等の確認や、「まとめてみよう」、「考えてみよう」等の学習内容を振り返る学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「地図で見る世界の動き」を設け、「地図を見比べよう」等のグループで話し合う課題を、写真、イラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「学習の整理と活用」を設け、語句等の確認を行い、「アクティビティ」で時代の特徴を振り返る学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭に、「鳥の目で見ると」、「虫の目で見ると」を設け、「この絵から、どんなことが分かるかな？」等の課題を、写真やイラスト、年表などとともに掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、語句等の確認を行い、ノートに記述することで、時代の特徴を振り返る学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目の冒頭の、扉ページでは、テーマ別にそのテーマに関連した写真を掲載している。 ○ 学習の見通しを立てられるよう、中項目の冒頭に、中項目の課題を示している。 ○ 中項目の最後に、「章をふりかえる」を設け、語句等の確認を行い、前の時代と比較しながら、時代の特徴を振り返る学習活動を設定している。
	④ 問題解決的な学習を実施するための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な「見方・考え方」を、資料に付し、諸資料を有効に活用するための学習課題を掲載している。 ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「スキルアップ」を設け、「集める」、「読み取る」、「まとめる」を付している。 ○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、身近な地域の歴史について、テーマを決めて、資料を関連付けながら、調査する学習活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「歴史の技」を設け、歴史学習の基本的な技能を掲載している。 ○ 特設ページ「身近な歴史を調べよう」を設け、テーマについて、資料を関連付けながら、解決していく活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な「見方・考え方」の例を、「章の学習を振り返ろう」の学習課題に付し、例として示している。 ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために「資料活用」を付している。また、コラム「技能をみがく」では基礎的な技能を掲載している。 ○ 特設ページ「歴史を探ろう」を設け、疑問について、資料を関連付けながら、解決していく活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な「見方・考え方」を、学習課題に付し、解決の手がかりになる例として示している。 ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、写真やグラフ、コラムなどに関連した課題を掲載している。 ○ 特設ページ「歴史へのアプローチ」を設け、テーマについて、資料を関連付けながら、解決していく活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な「見方・考え方」を、学習課題に付し、解決の手がかりになる例として示している。 ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「スキルアップ」を設け、系図の見方などを掲載している。 ○ 特設ページ「歴史を掘り下げる」を設け、テーマについて、資料を関連付けながら、解決していく活動を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決に必要な知識・技能を身に付けさせるために、「史料の読み方」等の学習内容に関連した情報を掲載している。 ○ 特設ページ「歴史のターニングポイント」を設け、テーマについて、資料を関連付けながら、解決していく活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「歴史を体験する」を設け、「話しあいましょう」、「発表しましょう」等の発問により、課題を解決していく活動を設定している。 	

観点	視 点	発 行 者							
		東京書籍	自由社	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育鵬社	学び舎
観点3 内容の構成・配列・分量	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代区分のページ数 総ページ数 304 ページ ○ 歴史との対話 12 ページ ○ 古代 44 ページ ○ 中世 36 ページ ○ 近世 50 ページ ○ 近代 102 ページ ○ 現代 32 ページ ○ その他 28 ページ ○ 巻末の「人名さくいん」351名の人物を掲載している。 ○ サイズAB判 重さ 約606g 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代区分のページ数 総ページ数 308 ページ ○ 歴史との対話 12 ページ ○ 古代 50 ページ ○ 中世 36 ページ ○ 近世 44 ページ ○ 近代 106 ページ ○ 現代 34 ページ ○ その他 26 ページ ○ 巻末の「人名さくいん」に385名の人物を掲載している。 ○ サイズAB判 重さ 約652g 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代区分のページ数 総ページ数 310 ページ ○ 歴史との対話 15 ページ ○ 古代 42 ページ ○ 中世 36 ページ ○ 近世 50 ページ ○ 近代 108 ページ ○ 現代 36 ページ ○ その他 23 ページ ○ 巻末の「人名さくいん」に388名の人物を掲載している。 ○ サイズAB判 重さ 約632g 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代区分のページ数 総ページ数 306 ページ ○ 歴史との対話 13 ページ ○ 古代 44 ページ ○ 中世 36 ページ ○ 近世 54 ページ ○ 近代 108 ページ ○ 現代 30 ページ ○ その他 21 ページ ○ 巻末の「人物さくいん」に317名の人物を掲載している。 ○ サイズAB判 重さ 約624g 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代区分のページ数 総ページ数 294 ページ ○ 歴史との対話 9 ページ ○ 古代 48 ページ ○ 中世 40 ページ ○ 近世 52 ページ ○ 近代 100 ページ ○ 現代 30 ページ ○ その他 15 ページ ○ 巻末の「人名」に375名の人物を掲載している。 ○ サイズAB判 重さ 約608g 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代区分のページ数 総ページ数 328 ページ ○ 歴史との対話 8 ページ ○ 古代 50 ページ ○ 中世 42 ページ ○ 近世 52 ページ ○ 近代 102 ページ ○ 現代 38 ページ ○ その他 36 ページ ○ 巻末の「人名」に279名の人物を掲載している。 ○ サイズAB判 重さ 約666g 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代区分のページ数 総ページ数 314 ページ ○ 歴史との対話 13 ページ ○ 古代 50 ページ ○ 中世 34 ページ ○ 近世 52 ページ ○ 近代 102 ページ ○ 現代 33 ページ ○ その他 30 ページ ○ 巻末の「人名さくいん」に437名の人物を掲載している。 ○ サイズAB判 重さ 約634g 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代区分のページ数 総ページ数 306 ページ ○ 歴史との対話 6 ページ ○ 古代 44 ページ ○ 中世 32 ページ ○ 近世 50 ページ ○ 近代 110 ページ ○ 現代 36 ページ ○ その他 28 ページ ○ 巻末の「索引」に287名の人物を掲載している。 ○ サイズA4判 重さ 約716g
	⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「もっと歴史」を設け、本文ページの学習内容を深めたり、異なる視点でとらえたりする課題を掲載している。また、「資料から発見！」を設け、各時代の特徴的な資料を基に、読み取ったり考えたりすることで、その時代について理解を深めるための発展的な課題を掲載している。 ○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」の最後に、「プラス」として、発展的な学習課題を掲載している。 ○ コラム「歴史にアクセス」では、関連する発展的な内容を掲載し、SGDsに関連しているものには、関連マークを付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「もっと知りたい」、「人物クローズアップ」を設け、歴史をさらに深く学び考える発展的な学習課題を掲載している。 ○ コラムでは、本文の内容をより深めていくための発展的なテーマを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「歴史を探ろう」を設け、具体的な事例・テーマをもとに、歴史学習を深める課題を掲載している。また、「身近な地域の歴史を調べよう」を設け、ページの最後に、「問い」として発展的な学習課題を掲載している。 ○ コラム「歴史の窓」では、学習から興味や関心を広げていく発展的なテーマを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「歴史を探ろう」を設け、学習したことを、具体例を通じてさらに深める課題を掲載している。また、「技能をみがく」を設け、歴史の見方・考え方を働かせる上で、必要な基礎的な技能を習得するための発展的な学習課題を掲載している。 ○ コラム「地域史」では、中央とは違う地域の姿から、日本の社会や文化への理解を深める発展的なテーマを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「歴史へのアプローチ」を設け、テーマを設定し、歴史的に深くほり下げて解説する発展的な学習活動を掲載している。また、「歴史を考えよう」を設け、「考えてみましょう」等の発問により、発展的な学習課題を掲載している。 ○ コラムでは、教科書の内容をより深めていくための発展的なテーマを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ『歴史を掘り下げる』を未来に活かす』を設け、現代の課題について、歴史を踏まえて考える発展的な課題を掲載している。また、「スキルアップ」を設け、「仏像の見方」等の発展的な学習課題を掲載している。 ○ コラム「先人に学ぶ」や「地域に学ぶ」では、先人の活動や、身近な地域から歴史を学ぶことのできる事例を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「歴史ズームイン」を設け、歴史の学習を幅広く豊かにするためにふさわしい発展的なテーマを掲載している。また、「このころ世界は」を設け、各時代の日本の歴史と関わりの深い外国の動きを掲載している。 ○ コラム「歴史ビュー」では、本文の内容に関連する発展的なテーマを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「歴史への案内」を設け、地域の博物館を利用して調べる発展的なテーマを掲載している。 ○ コラム「フォーカス」では、本文の内容に関連する発展的なテーマを掲載している。

観点	視点	発行者							
		東京書籍	自由社	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育鵬社	学び舎
観点4 内容の表現・表記	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真・ウェブコンテンツ等の 示し方	主として、古代・中世を取り上げて記載（同時代は日本が国家を形成し、発展させていく上で、特に東アジアとの深い関わりが見られた時代であるため）							
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1) 古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 188 点を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1) 古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 141 点を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1) 古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 187 点を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1) 古代までの日本(2)、中世の日本において、イラスト・写真 236 点を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1) 古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 198 点を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1) 古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 137 点を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1) 古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 125 点を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中項目(1) 古代までの日本、(2)中世の日本において、イラスト・写真 190 点を掲載している。
		主として、原爆被害、復興、平和発信に関することなどを取り上げて記載							
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆投下について、本文で説明し、「廃きよになった広島」、「長崎に落とされた原子爆弾」の写真を掲載している。 ○ 特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、「広島復興と平和への思い」をテーマに、「広島市」を取り上げ、広島が復興した背景を追究するために、広島平和記念資料館での調査を基に、平和都市としての広島の課題を考え、将来の広島の構想について話し合う課題解決的な学習活動を設定している。 ○ 35 件のウェブコンテンツにアクセスできるよう QR コードを掲載している。また、対応する箇所には「Dマーク」を付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆投下について、本文で説明し、「広島市の原爆投下」の写真を掲載している。 ○ 特設ページ「調べ学習のページ」を設け、「原子爆弾の被害を考えよう！」をテーマに取り上げ、広島、長崎への原爆投下について、資料から考える課題を 2 つ掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆投下について、本文で説明し、「被爆後の広島市の街」、「長崎に投下された原子爆弾」の写真を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原子爆弾によって廃墟となった広島」、「長崎に投下された原子爆弾」の写真を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆投下について、本文で説明し、「広島と長崎への原子爆弾の投下」、「広島市の爆心地」、「原爆投下後の長崎」の写真を掲載している。 ○ 特設ページ「地域からのアプローチ」を設け、「広島」をテーマに取り上げ、原爆の被害や復興等についての学習課題を 8 つ掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原子爆弾投下 2 か月後の広島」、「長崎に落とされた原爆のきのこ雲」の写真を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原爆ドーム」、「原爆で破壊された浦上天主堂」の写真を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆投下について、本文で説明し、「原爆で壊滅した広島市の爆心地付近／原爆ドーム（産業奨励館）」、「原爆のきのこ雲」の写真を掲載している。
				<ul style="list-style-type: none"> ○ 46 件のウェブコンテンツにアクセスできるよう QR コードを掲載している。また、対応する箇所には「まなびリンク」を付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5 件のウェブコンテンツにアクセスできるよう QR コードを関連する箇所に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 14 件のウェブコンテンツにアクセスできるよう QR コードを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 14 件のウェブコンテンツにアクセスできるよう QR コードを掲載している。また、対応する箇所にはデジタルマークを付している。 		

観点	視点	発行者							
		東京書籍	自由社	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育麟社	学び舎
観点4 内容の表現・表記	⑥ 他教科や他分野、日常生活等との関連の示し方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教科関連マーク」を付し、他教科の学習との関連を示している。 ○ 「分野関連マーク」を付し、他分野との関連を示している。 ○ 「小学校の社会で習ったことば」を、大項目の導入の年表中に示し、小学校で学習した語句を掲載し、振り返りの部分で関連付けている。 ○ 特設ページ「もっと歴史」を設け、身近な地域で起きた自然災害や、その後の取り組み等の日常生活に関連する学習課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校で学習した人物との関連を示すために、中項目の導入部分に「登場人物紹介コーナー」を設けている。 ○ 特設ページ「調べ学習のページ」を設け、「日本人の名字はなぜ多いのか」等の日常生活に関連する学習課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「関連」マークを付し、他分野との関連を示している。 ○ 小学校の教科書で登場した人物には「小学校」マークを付している。 ○ 特設ページ「歴史を探ろう」を設け、人々が共生するための工夫や努力について、点字をテーマにした、日常生活に関連する学習課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「小学校・地理・公民との関連」マークを付し、他分野との関連を示している。 ○ 小学校で学習した内容との関連を示す、「小学校・地理・公民との関連」マークを付している。また、導入部分に小学校での既習事項を掲載している。 ○ 特設ページ「多面的・多角的に構想する」を設け、「どのような社会を目指していくか」等の、日常生活に関連する学習課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「地域からのアプローチ」では、日常生活と関連するその地域の名産品や史跡を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地理」、「公民」、「地図帳」マークを付し、他分野との関連を示している。 ○ 小学校で学習した内容との関連を示す、「小学校」マークを付している。 ○ 特設ページ『歴史との対話』を未来に活かすを設け、「防災・減災に関するそなえを過去から学びましょう」等の、日常生活に関連する学習課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「歴史ズームイン」を設け、「自分の住む地域の地震や災害についての史料が残されていないか、調べてみましょう」等の日常生活に関連する学習課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「歴史を体験する」を設け、「火おこしに挑戦する」、「地域の歴史を歩く」等の日常生活に関連する学習課題を設定している。

観点	視点	発行者							
		東京書籍	自由社	教育出版	帝国書院	山川出版社	日本文教出版	育鵬社	学び舎
観点5 言語活動の充実	⑨ 様々な資料を有効に活用し、考察したり、論述したり、意見交換したりするための学習活動	<p>○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキルアップ」を掲載している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「まとめの活動」を設け、Xチャートやマトリックスの思考ツールを用いながら、時代の特色を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、「トライ」を設け、「次の語句を使って説明しましょう」、「20字程度で説明しましょう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 「みんなでチャレンジ」を随所に設け、「グループで話し合いましたよ」、「クラスで発表し、意見を交換しましょう」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p> <p>○ 各中項目の最後に「まとめの活動」を設け、その中で、「みんなでチャレンジ」を付し、時代の特色をまとめるために、意見交換をする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 各中項目の最後に、「時代の特徴を考えるページ」を設け、短い文章や表でまとめながら、時代の特色を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに「チャレンジ」を設け、「理由を説明しよう」、「違いを説明しよう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「対話とまとめ図のページ」を設け、「まとめ図」を見ながら2人が対話をする場面を掲載している。</p>	<p>○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「歴史の技」を掲載している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、時代の変化に注目して、学習した時代の特色を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、「表現!」を設け、「～について説明しよう」、「話し合おう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「学習のまとめと表現」を設け、時代の変化に注目するために、「話し合いましたよ」等、意見交換をする学習課題を掲載している。</p>	<p>○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「技能をみがく」を掲載している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、自分の考えを整理しながら、時代の特色を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、「説明しよう」を設け、「特徴から説明してみよう」、「理由を説明してみよう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「多面的・多角的に考えてみよう」を設け、「意見を発表し合おう」、「グループで話し合ってみよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「章の学習を振り返ろう」を設け、ステップ2で、「話し合いを通して自分の考えを深めよう」等、意見交換をする学習課題を掲載している。</p>	<p>○ 各中項目の最後に、「まとめ」を設け、表にまとめたり、説明したりするなどの、考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、「ステップアップ」を設け、「考えてみよう」、「まとめてみよう」、「調べてみよう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史を考えよう」を設け、取り上げた課題を話し合いながら、考察するなどの、意見交換をする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 資料を有効に活用するための基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキルアップ」を掲載している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「学習の整理と活用」を設け、「アクティビティ」では、「〇〇に着目して」時代の特色を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、「確認」を設け、「理由を説明しましょう」、「影響について説明しましょう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「チャレンジ歴史」を設け、「あなたの考えを説明してみよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 各中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、まとめの作業を手がかりにしながら、時代の特色を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 見開きページに、えんぴつのマークを付し、「説明しましょう」、「まとめましょう」等、論述する学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史のターンニングポイント」を設け、「それぞれの立場から意見を出し合い、クラスで話し合ってみよう」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p>	<p>○ 各中項目の最後に、「章をふりかえる・部の学習のまとめ」を設け、「前の時代と比べたりしながら」等発問により、時代の特色を考察する学習活動を設定している。</p> <p>○ 特設ページ「歴史を体験する」を設け、「話し合いましたよ」、「対話・討論する」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p> <p>○ 各中項目の最後に、「学習のまとめ」を設け、「グループやクラスで話し合いましたよ」、「発表を聞いて」等、意見交換をする学習活動を設定している。</p>